

鹿児島川内原発の8・11再稼働に怒り！ ……誰のために再稼働するのか？……

8月11日、仙台でも 抗議行動と署名行動 女川原発再稼働 STOP

川内原発を再稼働させた8月11日、女川原発問題住民運動宮城県連絡センターが呼びかけた抗議・署名行動が、仙台市中央通り平和ビル前でとりまれ、各団体がリレートークしました。

この日は、テレビ局やマスコミも取材に来ており、署名者や通行人からアンケートを取っていました。



再稼働に抗議して訴える桜井事務局長



署名する若者たち

8月11日午前10時30分、「再稼働するな！」と鹿児島近隣の方や全国各地から反対・抗議に多くの方が集まっていたその前で、九州電力は川内原発1号機を再稼働させました。

川内原発がある鹿児島は多くの活火山に囲まれており、この8月6日には桜島の大噴火。9月に入っても、1600mにも及ぶ大噴火など続いています。

事故の際の住民避難訓練計画は規制委の安全審査対象外で地元自治体任せ。川内原発再稼働は、火山や地震のリスク対策や実効性ある住民避難計画などを置き去りにし、いのちや環境・くらしの不安を抱く国民に応えることなく強行されました。

1年11ヶ月、原発が止まっても電力不足の心配もなく経過してきた日本で、「なぜ再稼働するのか」について、政府側から明確な説明はされていません。

この川内原発が再稼働された後の共同通信の調査では再稼働「反対」が55.3%、読売新聞の調査では58%となっており、国民の意思は、原発に頼らないエネルギーを求めています。国民の意思を無視して進める再稼働強行はやめ、廃炉に向けた取り組みこそ急ぐべきです。反対の世論に向き合おうとしない政権の姿勢は、憲法違反の集団的自衛権行使の「安全保障関連法案」を何が何でも成立させようと急ぐやり方と同じです。

いったい、誰のために再稼働を急ぐのでしょうか？

あの福島原発事故から4年半経過した今でも、10万人以上が避難生活を余儀なくされている苛酷な福島の現実。原発を動かすということは、福島のような被害をまた繰り返し、きびしくつらいリスクを抱えてくらすことを強いることにつながります。「**原発再稼働 STOP！ 脱原発**」を求め、全国でもこの宮城でも、ねばり強い運動を進めていきましょう。

みんなで止めよう！ 安保法案

9・6 みやぎ 3000 人大集会

9月6日(日)14時～15時 仙台市・西公園で集会、その後アピール行進します。

延長した国会会期も残り少なくなっています。参議院に回り、審議が進むほど、次々と明らかになる法案の内容や意味。日本のためではなくアメリカのために、自衛隊が暴走している事態が追究されています。戦争する国にしないために、誰の子どもも殺させないために、全国至るところで、戦争法案反対！ 廃案を求める声と運動が広がり大きくなっています。

8月30日には、国会周辺に10万人以上の人が集まり、「安保関連法案反対、廃案を求める大行動」が繰り広げられ、戦争する国をめざす安倍政権に打撃を与えています。宮城でも、「安保関連法案に反対するママの会」が声を上げ、学生や大学人が立ち上がっています。安倍政権の暴走 STOP！ いのちと平和、憲法を守る声と運動を大きくすることは、脱原発、子どもを守る私たちの願いと重なる共通の運動です。ご近所・お知り合いなど、誘い合わせて参加しましょう！

「女性ネットみやぎ」街頭宣伝署名行動

9月10日(木)・10月7日(水)12~13時

於・一番町フォーラス前 お誘い合わせてご参加ください!

さまざまな企画の案内が届いております。

これからの原発STOPの活動に役立つ内容です。ぜひ、予定に入れてご参加ください。

10月7日(水)14時~主催・脱原発ひまわりネット↓

脱原発ひまわりネット 第5回学習会

原発事故から4年あまりが過ぎ、政府は、事故をおかした「過去のこと」としてなおざりにし、原発再稼働に向けて動き出しています。宮城県においても、宮城県地域防災計画(原子力災害対策編)が作成され、女川原発再稼働への動きが進んでいます。私たちがひまわりネットは、宮城県に対し5回にわたって質問を行ってきましたが、その回答により、宮城県の避難計画では、私たち住民の安全は確保できないということが浮き彫りになってきました。本学習会では、宮城県からの回答を元に、ひまわりネットメンバーから、宮城県地域防災計画(原子力災害対策編)の問題点を解説します。

また、著書「原発避難計画の検証」(合同出版)において避難計画の問題性を検証された上岡直見氏(環境経済研究所代表)より、女川原発の避難計画の実効性についてご講演いただきます。ぜひお越し下さい!

第1部 宮城県地域防災計画の問題点(ひまわりネットメンバー)

第2部 講演「避難計画の実効性を考える」
上岡 直見氏(環境経済研究所代表)

2015年10月7日(水)
午後2時~4時30分
(午後1時30分開場)

場所 仙台弁護士会館 4階 大会議室
(仙台市青葉区一番町2丁目9番18号)

参加費 無料 お子連れの方もお気軽にご参加下さい。
無料駐車場も確保します。ご利用の方は、9月28日までに下記連絡先へお申し込みください。

脱原発ひまわりネット 事務局 荒井・今泉法律事務所(弁護士 坂口真洋子) TEL.022-267-8228

11月23日(月・祝)12時半~

主催・シンポジウム実行委員会 共催・原子力市民委員会

被災原発を再稼働させて大丈夫!?

市民による女川原発の安全性を問うシンポジウム

入場無料

日時 2015年11月23日(月・祝)
12:30~16:15 (開場 12:00)

会場 仙台市情報・産業プラザ 多目的ホール
(仙台市青葉区中央1-3-1 JR仙台駅前アエル5階)

東北電力は女川原発2号機の再稼働に向けて適合性審査を申請し、原子力規制委員会での審査が進められています。しかし新規規制基準に適合すれば、原発は「安全な」のでしょうか。宮城県は、県民の所に設けられた「女川原発2号機の安全性検討会」を設置しましたが、本当に県民の命と安全を守る内容の検討がされているのでしょうか? そもそも、あの3.11大地震に襲われて緊急停止(スクラム)した「被災原発」を再稼働させてよいのでしょうか。福島原発事故の原因も究明されていないのに、福島第一原発と同型の女川原発を再稼働させてよいのでしょうか。原発の構造と現場を熟知した技術者をパネリストに迎え、大勢の県民も参加して、ともに考えたいと思います。ぜひお越しください。

パネリスト:

- 井野博満氏 (東京大学名誉教授、金属材料学)
- 小倉志郎氏 (原発プラント技術者、元東芝)
- 後藤政志氏 (原子力格納容器設計者、元東芝)
- コーディネーター: 菅波完氏(高木仁三郎基金事務局)

<シンポジウム呼びかけ人>

青木正芳(弁護士) 大内秀明(東北大学名誉教授) 鹿野文永(元鹿島台町長) 川井貞一(前白石市長) 佐々木功悦(前美里町長) 庄司健彦(弁護士) 鈴木宏一(弁護士) 鈴木みづき(女川アクション代表) 長谷川由一(東北大学大学院教授) 山田いずみ(女性ネットみやぎ共同代表)

主催:市民による女川原発の安全性を問うシンポジウム実行委員会 共催:原子力市民委員会
TEL.&FAX022-373-7000(篠原) E-mail:hag07314@nifty.ne.jp(館脇)

原発・放射能・子ども・平和関連の行事など、各地・各団体のとりくみ

- ◆脱原発デモ・アピール行進 * 旧古川地域: 大崎 demo 金曜デモ・毎週金曜 17時半集合・あさひ中央公園・
- * 塩釜地域: 塩釜さん発デモ・金曜 17時半集合・下馬駅裏宮城民医連事業協前 17時45分デモ出発
- * 岩沼市: 原発ゼロ岩沼歩き隊 毎月第3金曜
- * 仙台長町地域: 第3水曜日 17時半~脱原発ながまちアクション: 仙台・長町・蛸薬師境内集合後デモ行進
- * 仙台中央部の「脱原発みやぎ金曜デモ」 9/11(金) 肴町公園 9/18(金) 肴町公園 18:30 集会開始、19:00 デモ出発
9/27(日) 肴町公園 14:00 集会開始、14:30 デモ出発錦町公園



◆9月6日(日)14時~「みんなで止めよう安保法案9・6みやぎ3000人大集会」於・西公園(旧市民図書館前広場)で集会の後、アピール行進
主催: 仙台弁護士会 共催: 日本弁護士連合会・東北弁護士会連合会

◆9月10日(木) 12時~13時 女性ネットみやぎ街頭宣伝署名行動 於・一番町仙台フォーラス前

◆9月12日(土)「シロウー原発立地を断念させた町」ドキュメンタリー映画: 上映: 10時~18時半~: かさこ監督のトーク20時10~30分
於・せんだいメディアテーク7Fスタジオアター 料金: 前売券 1200円、当日券 1500円 主催: 宮城上映委員会

◆9月12日(土) 10時~12時 放射能から子どもたちを守る栗原ネットワーク9月例会 於・栗原市市民活動支援センター
①被災者への分断化攻撃と「被ばくの強要」に抗して ②放射性廃棄物処理問題について (いのちと健康問題を中心に)
資料代 300円 (放射能汚染防止法(仮称)制定運動ガイドブックは別売り 200円)

◆9月27日(日) 映画「日本と原発」上映会 於・マリゲート塩釜3階マリホール 上映: 10時~13時~15時45分~
主催: 原発ゼロをめざす塩釜地域連絡会 入場券800円(当日売りはありません)

◆10月7日(水) 12時~13時 女性ネットみやぎ街頭宣伝署名行動 於・一番町仙台フォーラス前

◆10月7日(水)14時~「私たちが安全に避難できるのか? 検証—女川原発避難計画」 於・仙台弁護士会館 主催・脱原発ひまわりネット

◆10月18日(日)14時~木村真三さん講演会 Part II「ベラルーシ・ウクライナと飯館村」 於・エルパーク仙台 6F ギャラリーホール

講師: 木村真三さん(獨協医科大学准教授・放射線衛生学者) ゲスト: 伊藤延由さん(福島県飯館村村民)
主催・放射能問題支援対策会いずみ 入場無料・予約不要